

新上五島町東部地区定置網漁業ビジネスモデル計画

【策定：新上五島町東部地区雇用型漁業ビジネスモデル構築推進・普及会議】

背景

新上五島地域で操業する定置網漁業は、沿岸漁業の総水揚量10,893 tの約5割(5,460t)を占める主要な漁業の一つであり、地域における雇用の場としても大きな役割を果たしている。
 しかし、漁業者の減少や魚価の低迷など、水産業を取り巻く環境は厳しい状況にあり、優良な漁場にも空きが生じている。このため遊休漁場の復活、流通・観光への取組を包括した島内漁業の将来像となる収益性の高い漁業モデルを確立する必要がある。

課題



1. 生産性の向上

- ・漁獲量や魚価の低迷等
- ・遊休状態となっている優良漁場の活用による地域の活性化



2. 操業体制の再構築

- ・再開により2箇所となる漁場間の移動や操業などの漁労作業時間の増加
- ・定時の集荷時間に遅れない操業体制の構築



3. 流通の見直し

- ・小量多種の漁獲物の活用や活魚出荷の拡大による単価の向上
- ・新たな出荷先の開拓



4. 安定した雇用

- ・漁場の増加に対応するための労働力確保
- ・休漁期を含めた雇用による周年を通じて安定した労働の場の提供

取組の方向性

「遊休漁場の再開と生産性の向上」「流通・地域活性化への取組」「雇用の確保・雇用条件の改善」等を実施し収益性の高いモデル経営体を目指す。

計画内容

遊休漁場への新規加入と漁業生産の向上

- ・遊休状態のある奈良尾漁場への入漁
 - 大型定置(表層)1カ統敷設
 - 漁獲量の増大
 - 90t(既存) + 94t(新規)
- ・作業船の馬力アップで移動時間短縮と作業の効率化
 - 漁獲物の定時出荷を維持
- ・経営多角化と地域活性化への取組
- ・漁協と連携した鮮魚セットの販売と活魚出荷の販路・出荷量の拡大
 - 単価アップと活魚化による収益増
- ・雇用の確保・雇用条件の改善
- ・海上作業員の新規雇用
- ・新規漁場設置による従業員の周年雇用
 - 新規雇用1名、全員の周年雇用
 - 部分で県支援事業活用予定



新規定置網の設置



鮮魚セットの販売



活魚出荷の拡大

～ 地域を牽引するビジネスモデルへ ～

- 収益性の向上
- 安定した経営体制の確立
- 労働環境改善と雇用の確保

KPI (重要成果指標)

	基準年(直近3年平均)	H31(目標年)
○付加生産額 (営業利益・人件費・減価償却費)	25,954 千円	52,400 千円
○雇用者数・期間	13 人 期間雇用	14 人 周年雇用